

入場無料
申し込み受付中

「出版物に関する権利」公開シンポジウム

著作隣接権

—デジタル時代に日本の出版文化をどう発展させるか?—

主催：出版広報センター

電子書籍の普及が進む昨今、出版者（社）の役割はこれまで以上に重要になってきていますが、現行の著作権法では電子出版物を対象とする規定がありません。流通と利用の円滑化、権利侵害への対応、そして日本の出版文化をより豊かに実らせるためにも、いまこそ出版者（社）になんらかの権利が必要ではないかという論議が高まっています。

出版4団体（日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本電子書籍出版社協会、日本出版インフラセンター）で構成する出版広報センターでは、これまで東京国際ブックフェアや衆議院議員会館でのシンポジウム等々を通じて「出版者（社）への権利付与」に関する社会的理解の浸透に努めてまいりました。さらにこうした流れの現時点での集大成として、一般の方々に広くご理解いただくためのシンポジウムを、来る11月26日に開催する運びとなりました。

ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

[日 時] 2012年11月26日（月）14：00～16：00

[会 場] 学術総合センター一橋記念講堂

<http://www.nii.ac.jp/introduce/access1-j.shtml>

東京都千代田区一ツ橋2-1-2 TEL 03-4212-3900

[出席予定者]

司会 植村八潮（専修大学教授、出版デジタル機構会長）

パネリスト 石橋通宏（参議院議員）

大沢在昌（作家）

大淵哲也（東京大学大学院教授、元東京高裁判事）

野間省伸（講談社社長、出版広報センター長）

林真理子（作家）

弘兼憲史（漫画家）

（50音順 敬称略）

[お問い合わせ] 日本書籍出版協会 調査部（TEL03-3268-1303）

[お申し込み] 下記宛てに、E-mailでご氏名、ご所属を記してお送りください。

info@jbpa.or.jp 件名は、「公開シンポジウム申込み」としてください。

[お申し込み締め切り]

11月20日（火）ただし、定員に達した場合は、締め切り前に募集を終了いたします。

[定 員] 500名



植村氏



石橋氏



大沢氏



大淵氏



野間氏



林氏



弘兼氏